

2025年度 実施報告書

開催期間：2025年8月4日(月)～9月30日(火)

定 員：200名(全国の薬学部・理系学部の3年生以上対象)

概要

富山くすりコンソでは、全国で将来の医薬品産業を担う人材育成と確保を目的に「ネクスト・ファーマ・エンジニア養成コース」を開催しています。2025年度は、全国の薬学部・理系学部(理・工・農・水産・獣医・畜産学部等)の87大学に在籍する学生279名が受講し、8月4日(月)から9月30日(火)の期間のオンライン開催に加え、9月には3日間のプログラムで現地企業見学体験会を実施しました。

オンライン講座では、新たに5つの講座を追加し、創薬・製剤・バイオ医薬・和漢薬などの専門講座を開講しました。現地企業見学体験会では、県内製薬企業での研究開発、品質管理、優れた製剤技術等に接する貴重な体験を提供することができました。

これらの多彩なプログラムにより、富山県の特徴、研究環境、医薬品産業などへの理解を大きく広げることができ、所定の課程を修めた130名には、修了証書を交付しました。

コースの実施内容

1. 入校式&オリエンテーション(事業責任者挨拶、連絡事項他)
2. ライブ配信コンテンツ 「富山のくすり」「創薬」「製剤」「バイオ医薬」「和漢」の5つのカテゴリでライブ(17講座)、オンデマンド(24講座) 計41の専門講座を配信
3. 現地企業見学体験会(詳しくは4ページをご覧ください。)

受講生(87大学 279名)

● 大学について ※名称中の「大学」「大学院大学」は省略

北海道(3)、北見工業(1)、公立千歳科学技術(4)、弘前(1)、東北(9)、東北医科薬科(1)、秋田県立(1)、山形(1)、福島(6)、医療創生(1)、茨城(1)、筑波(3)、国際医療福祉(1)、自治医科(1)、群馬(1)、千葉(1)、東京(5)、お茶の水女子(1)、東京農工(3)、電気通信(1)、東京海洋(4)、東京科学(2)、帝京平成(3)、北里(9)、慶應義塾(8)、上智(1)、昭和薬科(1)、中央(1)、東京農業(1)、東京薬科(1)、東京理科(6)、東邦(2)、東洋(1)、日本(11)、星薬科(9)、明治(1)、立教(1)、早稲田(2)、国際基督教(1)、帝京(2)、武蔵野(1)、横浜国立(1)、横浜市立(3)、麻布(1)、長岡技術科学(1)、富山(42)、富山県立(17)、金沢(7)、福井県立(3)、岐阜(2)、岐阜薬科(2)、岐阜医療科学(2)、愛知教育(1)、名古屋市立(2)、愛知学院(1)、愛知工業(1)、名城(2)、中部(1)、京都(5)、京都工芸繊維(2)、京都府立(1)、京都薬科(4)、同志社(1)、立命館(3)、大阪(7)、摂南(3)、大阪医科薬科(1)、大阪大谷(1)、近畿(1)、神戸(3)、兵庫県立(1)、神戸薬科(1)、関西学院(3)、奈良女子(1)、奈良先端科学技術(3)、鳥取(4)、岡山(2)、岡山理科(1)、広島(3)、広島工業(2)、徳島(3)、愛媛(1)、九州工業(1)、九州(5)、長崎(6)、宮崎(4)、鹿児島(3)

● 学年について

博士課程(16)、修士2年(10)、修士1年(80)、学部6年(4)、学年5年(30)、学部4年(27)、学部3年(86)、その他(26)

● 専攻等について

薬学系(131)、理工学系(75)、農学系(21)、医学系(10)、水産学系(6)、畜産・獣医学系(4)、その他(32)

※受講生の内訳()内は人数

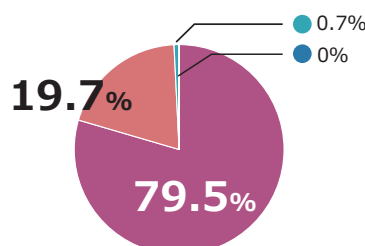
受講生からの声

99.2%の受講生が「満足している」と回答

受講生の満足度

ライブ講座、オンデマンド講座 全 41 講座

- 大いに満足している
- 少し満足している
- あまり満足していない
- まったく満足していない

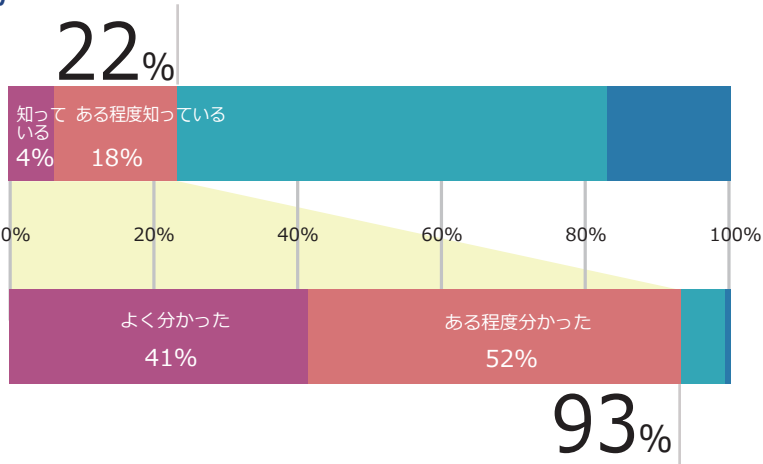


富山県の研究環境、医薬品産業の理解を向上

Q 富山県の研究(大学・公的研究機関)の認知度

受講前 富山県の研究環境についてどの程度知っていますか

知っている	4%
ある程度知っている	18%
あまり知らない	61%
知らない	18%



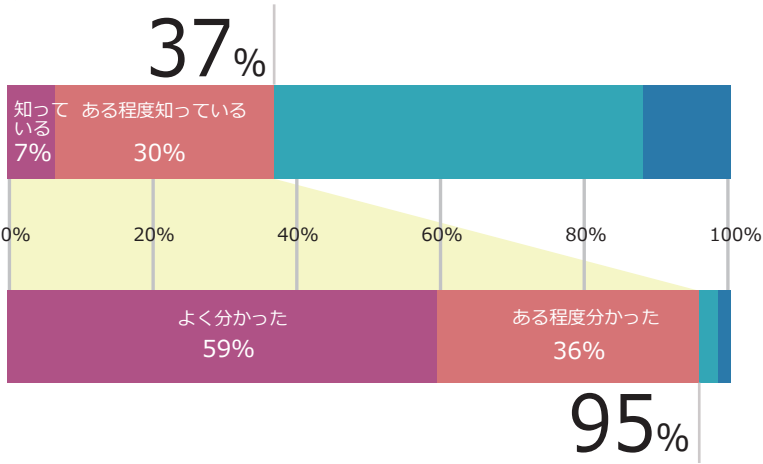
受講後 富山県の研究環境についてどの程度知ることができましたか

よく分かった	41%
ある程度分かった	52%
あまり分からなかった	6%
分からなかった	1%

Q 富山県の医薬品産業の認知度

受講前 富山県の医薬品産業についてどの程度知っていますか

知っている	7%
ある程度知っている	30%
あまり知らない	51%
知らない	12%



受講後 富山県の医薬品産業についてどの程度知ることができましたか

よく分かった	59%
ある程度分かった	36%
あまり分からなかった	3%
分からなかった	2%

Q 将来の就職を考えたとき富山県内の医薬品産業等の就職先の魅力

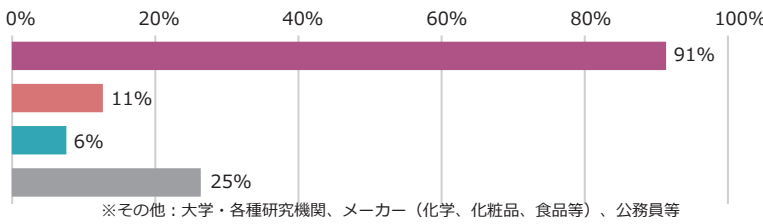
とても魅力がある	34%
魅力がある	59%
あまり魅力がない	7%
魅力がない	0%



Q 就職する場合どのような職種を希望しますか (複数回答可)

製薬企業	91%
病院	11%
薬局	6%
その他	25%

※複数回答のため100%超過

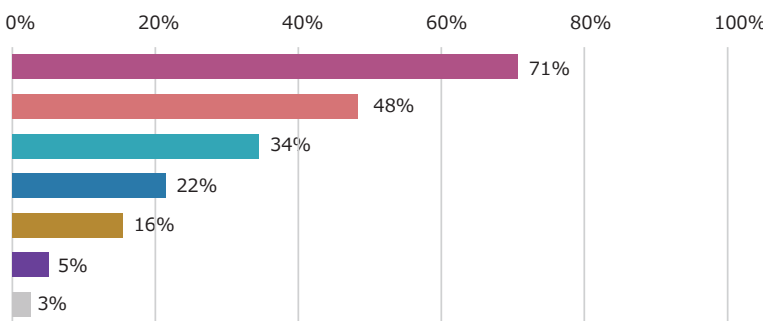


※その他：大学・各種研究機関、メーカー（化学、化粧品、食品等）、公務員等

Q 製薬企業を希望する場合の志望職種 (複数回答可)

研究・開発	71%
品質管理	48%
品質保証	34%
製造	22%
薬事・学術	16%
事務系	5%
その他	3%

※複数回答のため100%超過



受講生からの感想

＜昨年度（2024）と比較して＞

- ・ 富山県の医薬品産業への認知度の更なる向上
- ・ 社会的実装視点を持つ人材育成に進化

- ・ 富山県のブランディング強化に寄与
- ・ 大学の講義では学べない実践的内容を強化

●各講座に寄せられた感想

- 薬学の知識だけでなく、レギュラトリーの視点をもって医療を俯瞰し、「安全で信頼される医薬品をどう社会に届けるか」を考えられる人材になりたいと感じた。
- バイオ医薬品の注目度が高まる中で、バイオ医薬品とは何かや有効性の仕組みなどを学ぶ機会になった。バイオ医薬品を学ぶ入門として様々な知識が得られ、これからより深く学ぶきっかけになった。
- 講義を通して、自分の研究にも応用できる分析手法や、最先端の医療技術に触れることができ、大変刺激になった。今後は講義で学んだ手法や知識を、自身の研究や将来のキャリアに積極的に活かしていきたい。
- 薬剤師として、薬物の作用や体内での到達部位を理解した上で、患者にわかりやすく説明できる力の重要性を改めて感じた。
- 今回の講義は、単なる技術や知識の習得にとどまらず研究者としての姿勢や将来への心構えについても多くの気づきを与えてくれる貴重な時間であった。

●富山県の医薬品産業について

- 最初は富山県が薬産業が盛んな地であることすら知らず、受講を通して、観光地や薬産業の歴史を学んでいく中で富山県に一度は足を運んでみたいと感じた。
- 富山県が医薬品製造において日本トップクラスの製造能力を有しており、産官学連携で医薬品産業を盛り上げていこうとする姿勢を感じることができた。
- 医薬品産業に関わる様々な業種（研究開発、製造、容器、パッケージ）が集積しており、多くの会社は中小規模だが、それぞれの強みを活かして協力しあっていることが分かった。
- 富山県は全国でも製薬企業が集結した一大拠点であり、基礎研究から応用研究、さらには製剤化や臨床応用に至るまで非常に幅広い分野で研究が行われていることが理解できた。

●富山県の研究環境（大学・公的研究機関）について

- 「薬の富山」と呼ばれるほど古くから薬学が盛んな土地であり、大学をはじめとする公的研究機関では漢方などの東洋医学からバイオ医薬品に至るまで幅広い創薬研究が行われている印象を受けた。
- 富山県には大学や公的研究機関が密接に連携し、医薬品産業を支えている研究環境が整っており、富山大学や県立大学が創薬・製剤分野で実践的な教育研究を展開している点に加え、薬事総合研究開発センターが全国唯一の県立薬事専門機関として、医薬品等の分析法確立や製剤開発支援を行っていることは大変印象的だった。

●富山県内の医薬品産業等の就職先としての魅力について

- くすりの都「富山」で医薬品産業に携われる点に大きな魅力を感じる。富山県には多種多様な製薬企業が集積しており、研究機関との連携も密で、最先端の知識や技術を取り入れながら働くことができる。自身の学んできた知識を活かし、人々の健康に貢献できる環境が整っている点に強く惹かれた。
- 製薬産業を発展させるべく、官民が連携し力を合わせて努力されている印象を受けた。製薬のための環境が整っており、働きやすそうに感じた。
- 製薬企業の多さとその近さが魅力であると感じた。研究も行っている企業もあり、研究職にも関心があるため、その点にも魅力を感じている。
- 県全体として、製薬会社を盛り上げよう、高め合おうという気持ちが感じ取れた点に魅力を感じた。

●コースの内容について

- インターンよりも参加のハードルが低く気軽に参加することができる点がとても魅力的に感じた。
- 富山県の製薬企業に関することがあれば、就職活動の情報を得る手段になると考える。薬学に疎い人でも薬に関することを勉強できるため、今回のような多岐にわたる分野の講義は続けてほしい。
- 全く知らなかった知識を無料で受講でき、さらに現地企業の見学も可能なことは大変魅力的だと思う。就活でエントリーシートを書くよりも、こちらの講義をたくさん見れて、かつ見学会にも参加できることを考えると、こちらの講義を頑張った方がコスパも良いと思う。

●全体を通して

- 薬学部所属ではない私にとって、医薬品について体系的に学ぶ機会を得ることはこれまで無かったため、今回のネクスト・ファーマ・エンジニア養成コースに参加することで、基礎から応用まで、新たに多くの知識を得ることができた。とても為になる、ありがたい講習だったと感じた。
- 知らないことだらけでとても充実した1か月間だった。とても楽しくて、つい夢中で41講座全て受講したが、こんな充実したプログラムが無料で受講できるとは信じられない。
- 現地企業見学では実際に製薬企業を見学でき自分の将来を考える機会となった。普段は薬について学ぶ機会がないため、どの講義もとても新鮮で勉強になった。特に漢方については全く知らなかったためとても興味深かった。これからも学んでみたいと思った。
- 製薬会社への就職を希望しているがバックグラウンドが農学なので、薬学を体系的に学ぶ上で約40種類の講義は非常に役に立った。

現地企業見学体験会

今回で2回目となる富山県内での製薬企業見学などを行う「現地企業見学体験会」を開催しました。製薬企業見学では、研究開発や製造、品質管理等の現場を見学し、優れた製剤技術を学んだり、若手社員との座談会では、和やかな雰囲気のもと日頃の業務や仕事のやりがいなど活発な質疑応答が行われ、将来の進路を考えるうえで有意義な見学体験会となりました。

- **実施時期** 2025年9月17日(水)～9月19日(金)
- **参加者** 28名(県外大学24名、県内大学4名)(大学院生16名、学部生12名)
- **プログラム**

初日	○集合研修・・・国内製薬業界、富山県の医薬品産業の振興などの講義 ○参加学生との交流会
2日目	○県内製薬企業見学（1日目） ○「薬種商の館 金岡邸」の見学 A コース・・・テイカ製薬株式会社 B コース・・・日医工株式会社
3日目	○県内製薬企業見学（2日目） A コース・・・富士製薬工業株式会社 B コース・・・リードケミカル株式会社



集合研修



金岡邸の見学



企業での会社概要説明



製造部門の見学



開発部門の見学

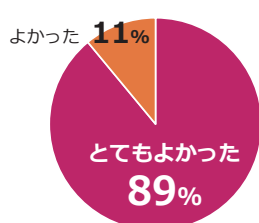


若手社員との座談会

- **参加大学生(19大学 28名) ※名称中の「大学」「大学院大学」は省略**

東北(1)、秋田県立(1)、筑波(1)、東京農工(3)、東京理科(1)、北里(1)、中央(1)、日本(1)、横浜市立(2)、富山県立(4)、金沢(3)、岐阜(1)、大阪(1)、関西学院(1)、奈良先端科学技術(2)、鳥取(1)、広島(1)、長崎(1)、鹿児島(1)

- **県内製薬企業見学の感想**



- 多種多様な剤形の生産ラインについてみるのが本当によかった。**製薬企業の各職種で働くイメージができた。**
- 少人数のグループでの社員座談会では、各職種のこと、就活のことを聞くことができた。**今後の就活の参考にしようと思った。**
- 実際の現場で手を動かす体験ができたことが印象的だった。**研究開発、品質管理の現場に入ることができ、具体的な業務を知ることができたため、将来像を思い描きながら参加することができた。**

- **県内製薬産業の印象(今後の将来の考え)について**

- 富山県の医薬品産業は、**未来に向けて持続的に開発し、成長し続けているというイメージが得られた。**
- 製薬企業の現状や課題、社内の様子や社員の方々との交流を通して、**今まで視野になかった富山での製薬会社への就職に高い関心が湧いた。**
- 技術力の高さについてイメージが変わった。実際に働いている方々がプロフェッショナル集団であると感じた。**富山の企業の方はあたたかい方が多くて、こういったところで働くのは楽しそうだと感じた。

富山くすりコンソからお礼申し上げます

3年目を迎えたネクスト・ファーマ・エンジニア養成コースは、従来の薬学・理工系学部に加え、農学・水産学・獣医学・畜産学部などの学生にも対象を広げました。県内外の産学官で活躍される専門家に講師としてご協力頂き、新たに5つの講座を追加し、合計41の講義をオンラインで実施しました。また、昨年に引き続き富山県内の製薬企業等を訪問・見学し、若手社員との意見交換等も行う「現地企業見学体験会」を開催しました。本養成コースの実施にご協力頂きました皆様には深く感謝申し上げます。受講された学生の皆様には、この学びと体験が今後の学生生活を実りあるものとする手がかかりとなり、将来の進路選択にも生かされるよう心から願っています。

事業責任者 森 和彦



「くすりのシリコンバレーTOYAMA」創造コンソーシアム人材育成事業実行委員会
(富山県/国立大学法人富山大学/公立大学法人富山県立大学/一般社団法人富山県薬業連合会)
富山県富山市新総曲輪1-7 富山県庁 電話：076-444-3943